

情報化社会とIT革命

情報化社会



工業化社会から情報化社会へ

- ▶ 18世紀：産業革命が起こる
 - 大量生産・大量消費が中心
- ▶ 1970年頃：大量生産・大量消費の経済が限界に
 - 情報技術の進歩と発展
- ▶ 情報の価値を中心に社会経済が発展していく社会へ
(**情報化社会**)

情報化社会の特徴

▶ **情報が経済の中心**

▶ 情報は他人に渡しても減らない

→ ひとつで無限の需要に応えることができる

▶ 情報は時間・場所・空間の制約を解消することができる

→ インターネットの普及により、世界中がリアルタイムに情報を安価で送受信できるように

IT革命



革命の意義

- ▶ 1990年代後半：インターネットに代表される**情報技術**が**急速に発展**
 - ➡ 情報流通の費用と時間を劇的に低下させ、企業活動、個人生活、国家経済など**広範囲に大きな影響**を与える
 - ➡ 変化があまりにも急激で広範囲に影響を及ぼすことから、この変化を**IT革命**と呼ぶ
- ▶ IT革命が進んだ社会を**高度情報化社会**という

I T革命の影響

①産業構造が変わる

- ▶ インターネットの普及により**情報を製品**とする産業が出現
- ▶ 情報流通の円滑化・低廉化により**企業間での分業**が容易になる
- ▶ インターネットの普及により世界は一つになると市場も競争も**国際化**
 - 各国の事情による個別の法的規制、情報化以前の法的規制の不合理的な面が問題に
 - 規制緩和が行なわれる
 - 新しい業態が出現したり，異業種から参入したりすることが容易に

I T革命の影響

②経済が変わる

- ▶ 米国経済：1970年代から1980年代にかけて低迷
1990年代に急速に回復し、2000年までの
→ 長期間にわたり繁栄を続ける
- ▶ 要因：**情報化への積極的投資**
→ IT革命に早期に取り組んだために経済を発展させることに成功
- ▶ 情報ネットワークによる優位性は、世界全体を対象にした優位性
- ▶ 情報に伴いモノも動く → 世界の経済活動の中心地に → 自国の国際的地位の向上に
- ▶ 特徴：自国の地下資源などに影響されることが少ない

I T革命の影響

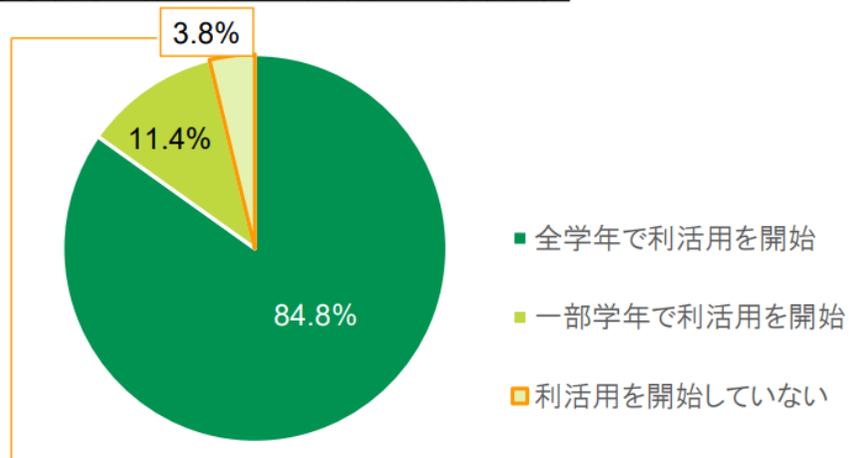
③暮らしが変わる

- ▶ 次世代携帯電話では電話機はモバイル情報端末に
- ▶ 高速通信回線が低価格の固定料金制に
 - ▶ 家庭でも企業と同じように通信費用を気にしないで
 - ▶ インターネットを使える環境になる
 - ▶ どこからでもいつでも無制限にインターネットが使える、
 - ▶ 動画や音声も自由に扱えるように
- ▶ 個人：授業をインターネットで受講するなどが日常的に
- ▶ 公共サービス：道路の混雑状況をナビゲータに表示するなどが現在より容易になる、遠隔医療により僻地でも最高の医療を受けることも可能に

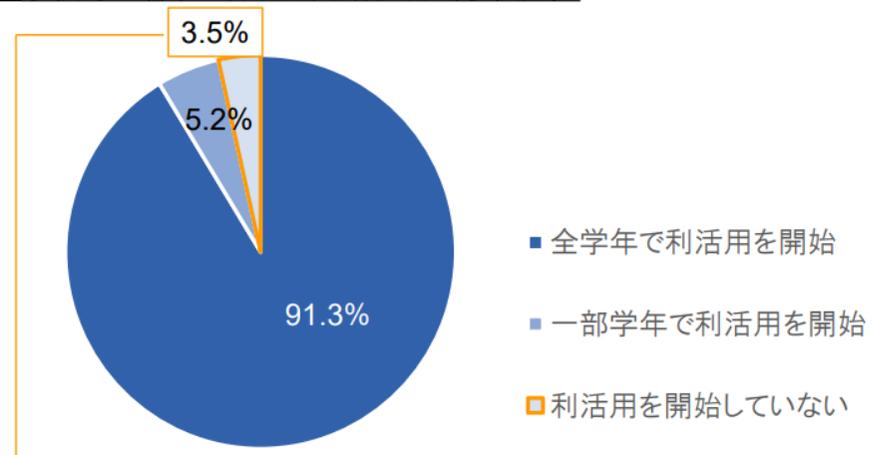
I T 革命の影響

④教育が変わる

小学校等の端末の利活用開始状況（学校数）



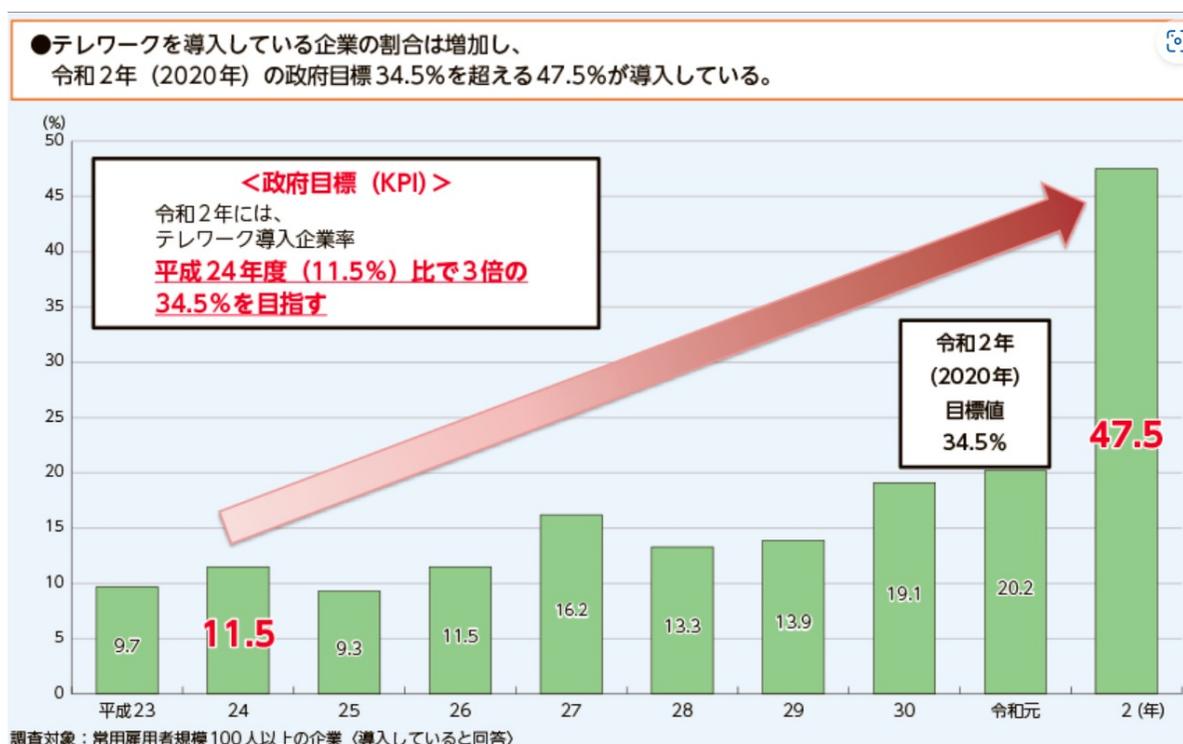
中学校等の端末の利活用開始状況（学校数）



令和3年度 文部科学省

情報化による働き方の変化

◆テレワークの増加



総務省

まとめ

- ▶ 工業化社会から情報化社会へと変化したことによって、**情報が経済の中心**になる
- ▶ インターネットの普及により、世界中が**リアルタイムで情報を送受信**できるようになる
- ▶ 情報技術が急速に発展したことによる変化を**IT革命**と呼ぶ
- ▶ IT革命が進んだ社会を**高度情報化社会**という
- ▶ IT革命により、産業構造、経済、暮らし、教育が変化した

参考資料

- ▶ 情報と人権テキスト

[content/uploads/2022/04/677bcacc21500c3b4978d412474e569a.pdf](https://www.mext.go.jp/content/uploads/2022/04/677bcacc21500c3b4978d412474e569a.pdf)

- ▶ 文部科学省、端末利活用状況等の実態調査 (令和3年7月末時点) (確定値)

https://www.mext.go.jp/content/20211125-mxt_shuukyo01-000009827_001.pdf

- ▶ 総務省、「令和2年通信利用動向調査」

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/image/d0308460.png>